

自由のともび

JIYU NO TOMOSHIBI

- 企画展「木村久寿弥太日記の世界」
- 企画展「わたしのまちの自由民権」レポート
- 夏休み子ども歴史教室レポート
- めざせ博学連携！活動レポート

VOL. **99**
2025 September



木村久寿弥太日記

■ リレーエッセイ

木村久寿弥太日記の公開に寄せて

令和3年10月、木村久寿弥太の日記類が、木村会館を通じて高知市に寄贈されました。

木村久寿弥太（1865～1935）は慶応元年現高知市赤石町の田岡家に生まれました。社会評論家の田岡嶺雲は実弟、直木賞作家の田岡典夫は甥にあたります。

木村久寿弥太は、東京帝国大学を経て三菱に入社、その後三菱総理事として三菱グループを率い、財界の重鎮をなしました。近代の高知出身者を代表する人物の一人といえます。

没後、生家ゆかりの土地、家屋、現金が高知市に寄贈されました。高知市はその遺志に応え、昭和12年4月「市民ノ精神修養若クハ各種会合ニ裨益スル」ため木村会館を設置、長く地域の人々に親しまれてきました。

木村久寿弥太日記は、大正7年1月1日から死去の前日の昭和10年11月22日まで書き綴られたもので、木村家の生活の様子や三菱グループの動きだけでなく、皇族、経済人、政治家、軍人、文化人などの幅広い交友がみられ、日本近代史の極めて重要な記録となっています。

このたび、公開の準備が整いあわせて展示会が開催されることになりました。この機会に日記をご覧いただくとともに、木村久寿弥太や田岡家に関心を深めていただきたいと思います。

現在の木村会館は「高知市旭コミュニティセンター」高知市立旭文化センター「旭市民図書館」を持ち、市民の皆様とのコミュニティ活動の拠点となる施設として、また災害時における避難場所としての機能を持つ施設です。木村会館のご利用もお待ちしております。

木村会館館長

西森 孝

企画展

「木村久寿弥太日記の世界」

期間…2025年10月4日(土)～2026年2月23日(月・祝)
 会場…2階 特別展示室 (※常設展・企画展共通観覧券が必要)

このたび、高知市出身で戦前に三菱グループの総理事を務め、財界の重鎮であった木村久寿弥太の日記を公開することになりました。このことを記念して企画展・記念行事を開催します。



木村会館に掲げられている肖像写真



後列、木村夫妻 (木村家蔵)

◆木村久寿弥太の生涯

木村久寿弥太は慶応元年12月2日、現高知市赤石町の田岡家に生まれ、叔父の養子となります。

明治23年東京帝国大学を卒業、三菱に入社し要職を歴任、大正11年総理事に就任します。三菱鉱業会長、三菱製鉄会長などを兼任し、財界では日本工業倶楽部創立会員、日本商工会議所顧問などを務めました。昭和7年総理事を辞任、三菱の社長室会議員となります。昭和10年11月23日病没。

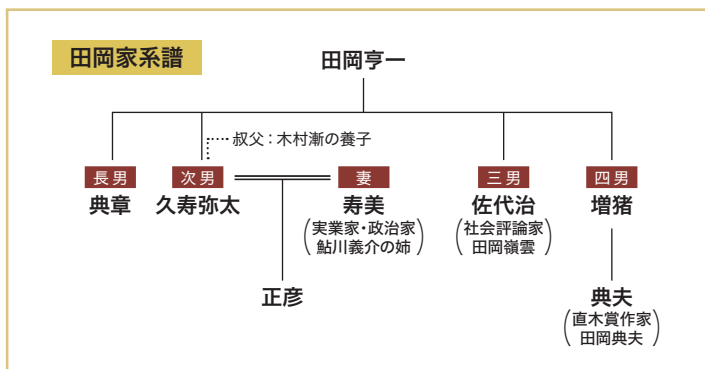
社会評論家の田岡嶺雲は実弟、直木賞作家の田岡典夫は甥に当たります。

◆日記概要

高知市に寄贈された資料のうち、今回は、久寿弥太の日記を公開します。

その内訳は、大正7年1月1日から昭和10年11月22日死の前日までのうち、大正14年、大正15(昭和元年、昭和2年の3年分を除く、全18冊)となっています。

なお、この日記撮影の経費として、旭地区社会福祉協議会から多額のご寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。



史跡



赤石町の旧梅原内科医院の隣に建つ石碑

記念行事

「木村久寿弥太日記を読む」

日時…2026年1月24日(土) 14時
 会場…高知市立自由民権記念館

1階 民権ホール

記念講演

演題「木村久寿弥太と

大正・昭和戦前期の日本」

講師…奈良岡聰智氏

(京都大学大学院法学研究科教授)

翻刻メンバーによる報告 ※演題は仮

今井章博氏

「木村日記にみる関東大震災」

門田由紀氏

「別荘生活」

小林和香氏

「待合・料亭での会合」

村中大樹氏

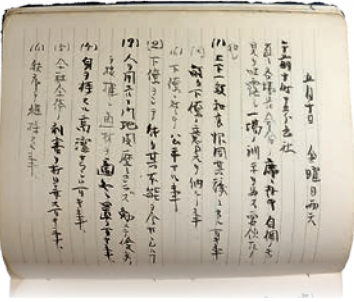
「日記翻刻作業の概要」

訓示

久寿弥太は、大正7年5月1日、三菱鉱業株式会社会長の職に就き、10日各場長に訓示を述べました。

この訓示からは、久寿弥太の仕事に対する姿が見てとれます。

- (1) 上下一致和衷協同其職ニ当ル可キ事
 - (a) 能ク下僚ノ意見ヲ納ルノ事
 - (b) 下僚ニ対シテ公平ナル事
 - (2) 下僚ヲシテ能ク其本能ヲ尽サシムルコト
 - (3) 人ヲ用ユルニ門地閱歴ニヨラズ勉メテ優秀ヲ拔擢シ適材ヲ適処ニ置ク可キ事、
 - (4) 身ヲ持スル高潔ナラシム可キ事
 - (5) 会社全体ノ利害ヲ打算ス可キ事
 - (6) 秩序ヲ維持スル事、
 - (7) 勉メテ智識ヲ開發シ社界ノ進歩ニ後レサル事、
 - (8) 公私ノ區別ヲ正シクスル事、然ラサレバ
 - (a) 会社ノ使用人ヲ自個ノ奴隸視スルノ弊ニ陥ル
 - (b) 会社ノ物資ヲ私用ノ為メ濫費スル弊ヲ生ス
 - (c) 私翰ヲ以テ公事ヲ弄スルノ弊ニ陥ル
 - (d) 一家ノ差事ニ公事ヲ抛ツノ弊ヲ生ス
 - (9) 自個ノ職責ヲ自覚セシムル事之レヲ重ンズルトキハ
 - 第一最初ノ計畫又ハ着手ニ先ンジテ慎重考慮スル事トナル
 - 第二工事ヲ進行シ業務ヲ執行スルニ当リ周到誠実トナル
 - 第三其結果ニ注意シ取得ヲ確實ナラシムル事トナル
 - (10) 先任者ノ計畫ハ勉メテ之レヲ尊重ス可キ事
 - (11) 一層保安ニ注意シ人命ノ毀損ヲ避ク可キ事
 - (12) 部下ノ待遇ハ技術員ト事務員トヲ
 - (13) 問ハス総テ平等ナラシム可キ事
 - (14) 職工鉦夫ヲシテ倦怠■嗟ノ意ヲ生セシメサル事
- 能ク地方民トノ間ニ調和ヲ保ツ事



関東大震災

大正12年9月1日の関東大震災は、久寿弥太にとっても特筆すべき出来事でした。その体験がリアルタイムで綴られるとともに、その後の世間や三菱の騒然とした様子が記されています。

〔9月1日〕

ツツントノ響地震カト思フ間モナク壁ハ余ノ頭ニ落チカ、レリ立チテ脱レンスルト脚モチレテ歩ムコト不能力ラクモ脱シテ庭ニ出テ家ヲ顧レハ小船ノ大浪ニモマル、如ク上下左右ニ動揺シツ、アリ

〔9月11日〕

東京ノ震災否火災ニ付テハ其惨状想像スル事ヲ得ス言語ニ絶スト力筆紙ニ尽ス能ハストカノ句ハ単ニ形容詞ニアラズ眞ニ此場合ヲ示スモノナリ一望ヒヨロビヨウタル焦土ト化シ煉瓦石造ノ焼ケ残り各処ニ散在スル已



「木村久寿弥太氏邸址」(昭和12年建立)
「田岡嶺雲生誕之地」(平成10年建立)

「子の生れた家は三面に田が有って、前に灌漑用の小さな溝が流れている。其溝の水を引いて、小さな池を拵へ、それが客間の向ふの庭の泉水となっている。客間と云へば大きな立派な室の様に聞こえるが、僅か六畳の小座敷で、それが子の家の一番立派な座敷である。」
田岡嶺雲著「数奇伝」補遺7より

● 木村会館

久寿弥太没後、その遺志により木村家は高知市に社会事業施設費として一万五千円、旧邸宅地八十六坪余、建物三十一坪を寄付しました。これによって高知市は「一般市民ノ精神修養若クハ各種会合ニ裨益スル」木村会館と「都市児童養護上必須ナル」児童遊園場を設置しました。

昭和12年3月、木村会館の開館を前にして、高知市長川淵治馬は、木村家ノ義侠ヲ表徴シ世道人心ニ影響スル処多ナルヘキヲ信ジテ疑ハス 仍チ本館附属児童遊園場ニ頌徳文ヲ掲ゲ旧邸跡ニ記念碑ヲ建設シ以テ同家ノ徳ヲ遠ク後世ニ伝ヘンコトヲ期ス」と述べています。

その後、木村会館は新築、改築を経て、現在も教養や文化を高める場として、また憩い集う場として、市民に親しまれています。



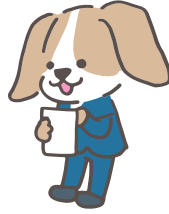
「わたしのまちの自由民権」

じゅうみんけん

自由民権 レポート



みんな犬 ニュース



みなさん、こんにちは！

ほくは、企画展「わたしのまちの自由民権」で案内人…じやなくて、案内犬を担当した「みんな犬」です。

この企画展は、6月1日をもって終了しました。企画展に来てくれたみんなや、関連イベントに参加してくれたみんな、本当にどうもありがとうございます！

このページでは、企画展の関連イベントの当日のようすや、関連企画「わたしのまちの『おたから』コンテスト」の結果などをレポートしたいと思います。

これからも、楽しい展示やイベントをいっぱい企画していくので、ぜひ楽しんでみてくださいね！

3/15 キッズデー ワークショップと講談劇

泥めんこを作って遊ぼう！

「泥めんこ」は、江戸から明治時代にかけて流行した、おはじきのようなおもちゃだよ。実は、高知市内の発掘調査で、「民権」や「板垣」などと書かれた泥めんこが、いくつも発見されているんだ！

今回のワークショップでは、「板垣」や「自由」など、実際に発掘された泥めんこをトレースして作った型で、泥めんこ風のおもちゃを作ったよ。完成したあとは、土を焼いて作った本物の泥めんこで、泥めんこ遊びにも挑戦したよ。

土佐自由民権講談劇 「自由は土佐の山間より」

泥めんこ作りを楽しんだ後は…自由民権運動について楽しみながら学べる、講談劇を開催したよ。

今回の作品は、山内一昭さんの脚本、西村和洋さんの演出による、朗読スタイルの新作劇。当日は、80人以上のお客さんで、会場は大盛り上がり！出演者のみなさんの迫力ある演技に、お客さんも、ほくも、圧倒されちゃった。植木枝盛さんや板垣退助さんの演説シーンでは、掛け声や拍手も起こっていたよ。

(協力：公益財団法人高知県文化財団)



4/27 ワークショップ

活版印刷を体験してみよう！

みんなは、明治時代に広まったメディアを知っているかな？…それは、「新聞」だよ！

明治に入ると、新聞を大量に早く印刷できる技術「活版印刷」が広まったんだ。民権家たちは、この技術で作った新聞をたくさん配って、自由民権の考え方を多くの人に伝えていったんだよ。

今回は、竹村活版室の竹村愛先生をお迎えして、この「活版印刷」を体験したよ！金属活字や専用の印刷機など、見たことのない道具に、みんな興味しんしん。民権運動の時期に描かれた絵と、板垣さん・植木さんの名言が印刷された、オリジナルのハガキを作ったよ。



3 専用の印刷機で1点ずつ印刷すると



1 まずは、たくさんある文字の中から、使う文字の「活字」を選んで…



4 オリジナルはがきの完成！



2 活字を枠にはめこみます。みんな真剣です。

関連
企画

わたしのまちの「おたから」コンテスト

結果発表!



企画展を見てくれたみなさんに
審査員になってもらって、
それぞれの賞にふさわしい
「おたから」を選んでもらったよ。
投票してくれたみんな、ありがとう～!



	①	②	③	④	⑤
ノミネート おたから	立志学舎の 試験問題	立志社の憲法案	板垣退助 遭難の図	獄中からの手紙	選挙妨害の 証拠書類
	立志学舎試験条目 (片岡家資料/当館保管)	日本憲法見込案 (個人蔵/当館保管)	錦絵 「板垣退助遭難之図」 (当館蔵)	細川義昌獄中書簡 母宛 (細川家資料/当館保管)	選挙干渉証拠書類 (片岡家資料/当館保管)
めずらしいで賞	1位	2位	2位	3位	3位
心にせまるで賞			1位	1位	
高知らしいで賞	3位	2位			

総投票数: 213

開催後記 (担当者より)

本展は、高知県における自由民権運動について、子どもたちに親しみを持ってもらいたい、楽しみながら学んでもらいたい、という思いから企画したものです。企画展キャラクター「みん犬」の案内のもと、貴重な実物資料とわかりやすい言葉で、高知における自由民権運動の大略を紹介しました。

複雑な運動の流れを、わかりやすく、かつ少ない文字数で紹介する——担当としてはかなりチャレンジングな企画でしたので、何より観覧いただいたみなさまの反応が気になっていました。みなさまからお寄せいただいたアンケートを拝見しますと、子どもだけでなく、大人の方から「わかりやすかった」とのお声をいただき、少しホッとしているところです。観覧いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

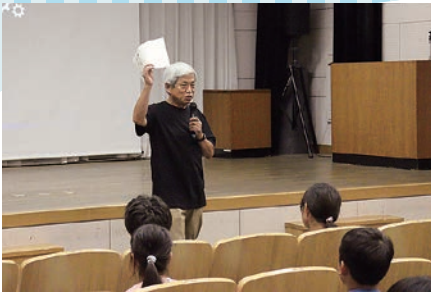
本展で最も気を配ったのは、やはり文章表現です。子どもが読みやすく理解しやすい文章をめざし、ルビ(ふりがな)の振り方、専門的な表現は可能な限り避ける、固有名詞は極力出さない、文字数は最小限に抑える……といったことを徹底していたつもりでしたが、どうしても専門用語に頼ってしまったり、本質的な意味が伝わりにくくなってしまった部分がありました。これは今後の課題としたいと思います。

自由民権運動について、複雑で難しそう、というイメージをお持ちの方は多いかもしれません。しかし、当時の資料を見ていくと、様々な層の人々が、知識の有無に関係なく参加できたオープンな運動であったことがわかります。そんな「わたしのまちの」二大運動について、一人でも多くの市民のみなさまに親しみを持っていただけるよう、今後も職員一同取り組んでいきたいと思っております。

夏休み子ども歴史教室 レポート

7月30日(水)、今年で28回目となる恒例の「夏休み子ども歴史教室」を高知市教育研究会社会科部会との共催により、自由民権記念館で開催しました。

この催しは、自由民権運動や郷土の歴史を、クイズなどで楽しく学びながら知識を深めてもらおうと始めたものです。当日は、高知市内の小学3年生から中学2年生までの29名が参加し、大いに賑わいました。運営に御協力いただきました高知市教育研究会社会科部会の先生方、「高知県民謡協会」の皆さん、ありがとうございました。



△開会式

社会科部会の先生の司会でスタート。館長の挨拶を聞いた後は、クイズラリーに備えて、植木枝盛が分かりやすく説明してくれる映像資料「自由民権って何？」を鑑賞しました。

クイズラリー

チェックポイントを班ごとに回りながら、クイズに挑戦！
4人の民権家のスタンプをコンプリートしよう！



第1チェックポイント(民権クイズに挑戦！)

自由民権運動について時系列に解説されている常設展示室をまわりながらクイズに挑戦！「自由」と刻まれた泥めんこや板垣退助遭難時の短刀のレプリカなどを鑑賞しながら、自由民権運動に関するクイズに回答しました。



第2チェックポイント(民権クイズに挑戦！)

ノルマントン号事件をきっかけに起こった三大事件建白運動の説明を受けながらクイズに挑戦しました。植木枝盛の書斎や、当時の日曜市の様子を再現した模型には子どもたちも興味津々。



第3チェックポイント(民権すごろく遊びを体験)

明治時代に作られた「民権すごろく」を体験。くすし字や旧字体にもチャレンジしながら、振り出しの「男女同権」から上ガりの「国会」を目指しました。



第4チェックポイント(民権歌謡の合唱)

「高知県民謡協会」の皆さんの三味線の伴奏に合わせて、植木枝盛が作詞した「民権がぞえ歌」を楽しく歌いました。歌ったあとは、錦絵パズルで楽しみました。

めざせ博学連携！

活動レポート

2025年8月1日

高知市教育研究会社会(小)部会 夏の半日研修

自由民権記念館にて「高知市教育研究会社会(小)部会」の研修が行われ、51人の先生方が参加しました。

研修では、当館が社会科部会の先生方と作成した『板垣退助BOOK』の活用方法の提案や、高知の自由民権運動についてのミニ講座などを行いました。また、先生方から「各学校の校区でどんな運動が行われていたのか知りたい」というリクエストを事前にいただいていたのを知りたので、明治7年から17年までに行われた高知市内での演説会・懇親会・夜学会など約700件について、高知市の現在の町ごとに振り分けた一覧データ「地域ごとにみる自由民権運動」を提供させていただきます。



当日の様子

大街	町名	起こった日	起こった内容
高知街	本町	M17.9	新市町旭席で通俗講談会。弁士藤崎朋之。宮地茂平・野島虎猪・久保内橋次。
高知街	本町	M17.10.13	本町堀詰座で日界会政談演説会。
高知街	本町	M17.12	本町堀詰座で窮民賑仙のための政談演説会。弁士武市安哉外数名。
高知街	升形	M10.7.14	升形登七席で演説会。弁士植木枝盛等。
高知街	升形	M15.5	升形稲荷席で講談師伊東東山が岐阜刺客一件を口演。大人気。
高知街	升形	M15.9	升形の山本小作方で同人長男若根(14)ら少年10人が撃刺・夜学。
高知街	帯屋町	M9頃	立志社本社、京町の旧町会所に移転。
高知街	帯屋町	M10.10	立志社。演説会場の婦女席狭隘のため、その拡張要望あり。
高知街	帯屋町	M10.10	立志社。高知上町・下町に毎月夜会あり。
高知街	帯屋町	M10.11.17	立志社演説会。弁士植木枝盛。

データ「地域ごとにみる自由民権運動」(一部)

2025年8月6日

令和7年度 教員のための博物館の日

昨年に引き続き、「教員のための博物館の日」を開催しました。学芸員による当館の活用方法の提案や、館長による展示解説などを行いました。また、ミニ講座「土佐の自由民権運動」では、高知からみた自由民権運動について、授業で活用いただける資料画像とともに紹介しました。参加された方からは、当館の様々な活用方法を知ることができて良かった、ぜひ出前授業を依頼したい、等のお声をいただきました。



今回、こうした研修やイベントを通して先生方と意見交換させていただく中で、当館を学校で活用いただく方法などについて、現場の先生方へのさらなる周知が必要であると実感しました。「教員のための博物館の日」の実施をベースに、今後もこうした広報活動を続けていきたいと思います。

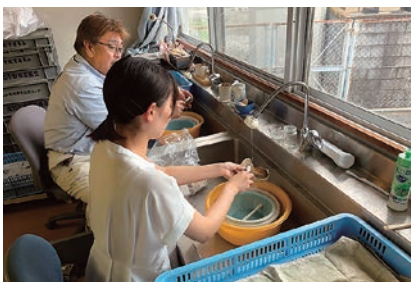
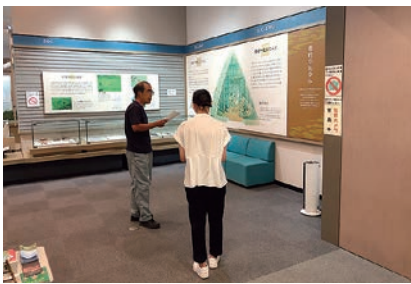
令和7年度

博物館実習報告

今年は、高知大学人文社会科学部から、実習生1人を受け入れました。

実習では、資料整理作業、資料の撮影に関する講義、高知市内の発掘現場で出土した土器を洗う作業、古文書の解読など、専門的な演習を行いました。また、博物館の基本機能や社会的役割を理解してもらうことを目的に、受付やSNSでの広報、展示解説やイベントのサポートなど、館のオモテの仕事についても体験していただきました。

実習期間中は連日猛暑日でしたが、暑さに負けず、大変真面目に取り組み姿が印象的でした。5日間、本当にお疲れさまでした。



Topics

トピックス

ARフォトスポット 「ぼうけんしよう!パンこうち」 (観光地)

高知市観光協会主催のキャンペーン「ぼうけんしよう!パンけんたい」に当館も参加しています。令和8年1月25日までの期間限定で、館内にARフォトスポットが登場。大階段の下にある看板から二次元コードを読み込むと、高知県出身の絵本作家である柴田ケイコさんが描き下ろした「ぼうしパンキャラクター」・板垣退助と一緒に記念撮影ができます。来館の記念にぜひどうぞ。



フォーラム「土佐と臺灣—高知と台湾の接点を探る—」

6月21日、高知近代史研究会・早稲田大学台湾研究所・当館の共催で、高知と台湾の歴史的接点を考えるフォーラムを開催しました。報告者からは、主に日本統治期の台湾において、樟脳など一次製品の製造技術、交通・流通網の建設整備、銀行・金融業振興など、多くの事業分野で高知県出身者が活躍していたことが紹介されました。参加者からは、「高知と台湾の人々に、こんなにも様々なつながりがあったことを初めて知った」等といった感想をいただきました。

イベント「板垣退助誕生から188年 —自由は土佐の山間より ジビエも土佐の山間より—」

7月21日、高知商業高等学校初代校長を務めた横山又吉が民権家でもあったことから、同校ジビエ部が板垣に関する新商品の開発に取り組み、その発表会と販売を行いました。発表会では、ジビエ部の活動報告や板垣の好物といわれているゆで卵と潮江菜を鹿肉と組み合わせた「鹿ナンバン」が出来るまでの経緯をクイズ形式で紹介。新商品「鹿ナンバン」は、限定50食が見事に完売しました。



行事予定 (秋・冬)

予定は変更になる場合があります。詳しくは自由民権記念館までお問い合わせください。
◆は当館内自由民権記念館友の会事務局にお問い合わせください。

10月4日(土)～2月23日(月・祝)

■企画展 「木村久寿弥太日記の世界」

会場：2階特別展示室
※常設展・企画展共通観覧券が必要

10月4日(土) 14:00～15:30

■高知近代史研究会第124回研究会 「魚梁瀬ダム60年-建設の経緯と地域-」

講師：中村茂生氏(高知近代史研究会会長)
会場：1階研修室

10月18日(土) 13:30～16:00

◆第25回「県詞の日」記念講演会 土佐自由民権運動の地下水脈を探して— 「慈善は土佐の稲穂より」 ～高知の福祉を支えた人々～

講師：氏原和彦氏
(初月ふれあいセンター長、元自由民権記念館学芸員、友の会会員)
会場：1階研修室

11月15日(土) 9:30～12:30

◆民権史跡めぐり 「立志社跡から憲政記念の碑へ歩いて行こう」

案内人：公文豪氏(自由民権運動研究者)
参加費：300円(雨天中止)

12月13日(土) 10:00～12:00

◆「兆民忌」 集合場所：高知市筆山登り口(雨天中止) 筆山にある中江家墓所の清掃と墓参り

12月21日(日) 13:30～15:30

◆第28回 民権風まつり 「土佐風を作ろう」

参加費：500円
会場：1階自由ギャラリー

要申込

1月4日(日) 14:00～

◆第28回 民権風まつり 「土佐風を揚げよう」

会場：鏡川北岸トリム公園(雨天中止)

1月17日(土)～2月23日(月・祝)

■第26回社会科自由研究作品展

会場：1階自由ギャラリー
市内小中学生の社会科に関する研究作品を展示

1月23日(金) 10:00～12:00

◆「無天忌」

集合場所：高知市小高坂市民会館(雨天中止)
山ノ端町にある植木枝盛の墓所の清掃と墓参り

1月24日(土) 14:00～

■企画展「木村久寿弥太日記の世界」記念講演会 高知近代史研究会第125回研究会

「木村久寿弥太と 大正・昭和戦前期の日本」

講師：奈良岡聡智氏
(京都大学大学院法学研究科教授)
会場：1階民権ホール
他 翻刻メンバーによる報告あり

2月初旬

■第2回食と自然環境講座

講師：熊澤秀治氏(潮江旬菜 代表)
会場：1階民権ホール

■みんけんdeマルシェ

出店予定：潮江旬菜・高知商業高等学校
ジビエ部・マツオカパウンド・Cona-Cafe・
hoi・ていーだめ工房
会場：1階アトリウム

要電話
予約

ワークショップ

午前の部 10:00～12:00
午後の部 14:00～16:00

参加費：500円
定員：各回15名
会場：1階研修室
※午前・午後とも
参加者対象の
クイズラリーあり

10/25(土) 紙ねんどで工作をしよう!
11/15(土) 段ボールで工作をしよう!
12/13(土) クリスマスガーランドを作ろう!
1/24(土) 絵馬を作ろう!
2/14(土) フラワーブーケを作ろう!
3/14(土) 折り紙でフラワーガーランドを作ろう!

